

二中の木

学校報
第4号
H27/06/05



能代市立
能代第二中学校
TEL 52-5138



夏季総体へ向けて〜桑田真澄氏の話〜 「夢をあきらめない」

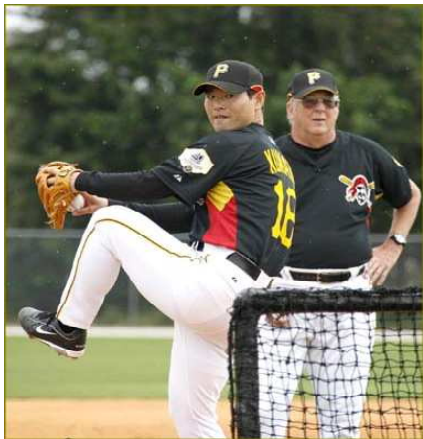


能代高進路講演会で

平成23年の秋、かつて二度職場が一緒だった縁もあり、能代高等学校の校長先生から桑田真澄氏をお迎えしての講演会があるよとお誘いをいただきました。同校では、生徒が自身の将来を見通したり生き方を深く見つめたりする機会にしようとして進路講演会を企画していたのです。

桑田氏の「生きる目的」とは

氏は、僕は、自分を磨くために生きているのだと思う。だから、試練や困難は僕に必要なもの。自分に与えられた砥石なのだと思う。自分を磨くための砥石。僕はいつもそう思って試練や困難を受け入れている。」とその著書「試練が人を磨く」で桑田文庫で語っています。講演は、九三〇名の聴衆を集めた能代市文化会館大ホールで行われました。この講演会では、「試練」が他の



努力や「本物」といった言葉と一緒に大切なキーワードとして何度も登場しました。

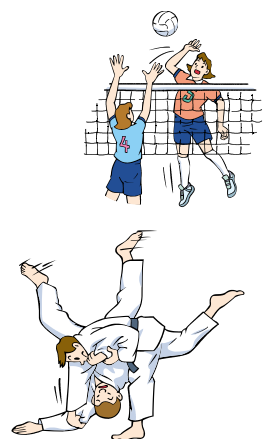
挫折を救った「試練」

桑田氏はプロに入らずに、「こんな実力ではプロでは通用しない。」と感じたし、多くの挫折を経験したと話していらっしゃいました。しかし、この挫折から自分を救ってくれたのは、他ならないこの言葉、「試練」だったのです。



辛い時、苦しい時こそ自分を磨くための試練と考えなければならぬ。試練を重ねたら今度は、自分にはいったいどれぐらいの力が付いたのかを試してやろうという挑む気持ちにならなければいけない。」と語りかけていらっしゃいました。苦しい状況から抜け出すには、今が自分にとって大切な試練と向き合っている瞬間なのだ、と落ち着いて自分に言い聞かせられること。また、たとえ今は結果が出ていなくても、夢に向かっていつも通りの努力を忍耐強く続ける

る勇気を持つことなどが大切だと考えさせられました。



夏季総体目前に

いよいよ夏季総体予選が6月20日(土)〜21日(日)に開催されます。試合、競技中には自分の思い通りにいかない場面が必ずやって来ます。この苦しさは、明日の自分につながる試練だと落ちていて考えられたら、そこにはまだまだ挽回のチャンスがあります。なぜなら、落ちていて考えられれば相手や自分の状況を分析するのに必要な冷静さが残っていると言うことだからです。

技の追求だけではいけない。応援されてこそ部活動です。

保護者と地域の方々へ

私達は、もちろん競技力の向上も目指しますが、同時に人を粗末せず、切磋琢磨しながら指導しています。結果が「地域全体に活動・学校」となり、継続して頑張ってもらって参りますので宜しくお願いします。